

第 10 回池田町農業振興協議会 会議要旨

日時 令和 5 年 12 月 4 日 (月)
午前 10 時 5 分～正午
場所 池田町 役場庁舎 2 階大会議室

出席者

委員 宮澤敏文、横澤はま、小林安男、小松俊一、片瀬善昭、櫻井康人、
中山眞、立岩満
アドバイザー 城取和茂、中塚満、市川智由
事務局 大澤孔、丸山佳男

進行：大澤事務局長（振興課長）

1 開会（横澤会長代行）

2 会長あいさつ（宮澤会長）

- ・今後の社口原及び町の農業振興の在り方を町長から諮問され、中間答申 5 回、最終答申 5 回、計 10 回の協議会を開催し、最終答申をまとめることができた。
- ・広聴会を何回も開催し、住民の皆様から、社口原農地での農薬使用を軽減して欲しいとのことで、農薬を多く使用するりんごともを別の場所で栽培することとし、渋田見や中之郷の県営事業で整備され、同じ環境で耕作が行われているぶどうだけにした。
- ・住民の意向を汲んだ答申となっている
- ・委員はじめ事務局、関係者に感謝申し上げます。
- ・国の農政が大きな転換期になっている。全国で地域計画の策定が始まったが、このような会議をして地域計画を策定する例はない。
- ・県下のなかでも早く取り組みをしており、本当に大事業である。いままでの論議を総まとめして、完全なものにした。

3 協議（以降宮澤会長進行）

(1) 前回協議会議事録の確認

（大澤事務局長）第 9 回協議会議事録未定稿の確認。
第 7 回協議会時 臼井健二氏提案資料の差替え

(2) 最終答申（案）の検討について

○最終答申の内容説明（事務局及びアドバイザー）

（宮澤会長）5 ページ 「計 4 回」を「計 5 回」に修正

（片瀬委員）町がいろいろ実行していくには、町の職員体制を整えなければ難しい。町長はどう考えているか。

（宮澤会長）答申の中の現状の認識が正しいか確認してほしい。後ほどお聞きしたい。

（立岩委員）町の現状はこのとおりだ。

（横澤会長代行）今後の池田町の農業に心を痛めているが、未来を考えるいい時期だった。池田町がどうあるべきか。みんなできちんと取組んでいかないといけない。議会でも真摯に受け止めたい。この案でよい。

(小林委員) 大枠は承知した。27 ページに県農業開発公社の役割が位置付けられてる。貸借を始め、農地の売買、遊休農地の対策にも取り組みたい。
18 ページ基本理念(1)力の営農以外の部分について、今後も具体性のある継続的な議論を深めていってもよいのではないか。答申の方向性はよい。

(小松委員) 最終答申(町への提言)では、厳しい町の財政を考え高率補助事業の活用を考えているが、高率補助事業の社口原がうまくいかず、補助金返還のおそれがあるが本協議会の設置に至った。改めて高率補助事業を活用するなら町は体制を整えて覚悟をもって行ってほしい。答申の方向性はよい。
絵にかいた餅では困るので、実行できる計画を策定し、しっかり取り組んでほしい。

(片瀬委員) 答申を受けて、町は実施していくと思うが、大変なこと。地域計画策定にあたり、ほ場整備が済んだ約 500ha は目標地図などに反映するが、住宅地の中の農地などはあまり力を入れない。地域計画は毎年実施していく。いまだかつてなく真剣に農業を考えた。中山間は考えたことがない。
答申案について、難しいと思うので、可否について、答えは出せない。

(櫻井委員) 社口原農地について、資料にある内容だが、東日本大震災の日にはほ場の石を拾っていた。答申について、内容に問題は感じないが、町の役割、J A の役割が重荷になる。役割、スケジュールが実現可能なのか心配している。新法人を来年 2 月に設立とあるが、並大抵のものでない。若者を入れた法人は難しい。今の役場の振興課の体制では難しいと思う。特別なチームが必要だ。

(中山委員) 社口原農地が維持され、町と耕作者に感謝する。地権者は返されても困る。スケジュールどおり進むことを願う。

(立岩委員) フローの中で、交付金申請の都合上、法人設立が来年 2 月なのは分かった。試行栽培は 1 年で判断がつくのか疑問。主要な市場や都市圏にバイヤーが張り付いている。新法人で考えなければならない課題もある。
J A も関与し、法人を軌道に乗せるチームを作って動いていく必要がある。

(宮澤会長) 町長は、J A に(出資や職員の出向を)要請している。(株) SouGo や(株) 裕源にも資本参加や経営バックアップをお願いしており。バナラビーンズの試験栽培の検討も始まっている。我々も、県もバックアップしていかなければならない。議会への報告義務も町の役割に入れている。

(宮澤会長) 答申案を答申としてよいか。→全委員同意

4 答申

宮澤会長から町長へ手渡す

お礼

(甕町長)

熱心に審議いただきありがとうございました。

持続可能な農業の指針となると思う。方向を定めてもらった。具体化、実行していくのが今後の課題。町が進めていくには大きすぎる。課題を解決するため、答申どおりのことを町

が定めるには荷が重すぎるので、農振協の解散は法人が立ち上がる今年度末としたい。県の皆さんも今後とも支援をお願いしたい。

5 その他

6 閉会

(横澤会長代行) 最終答申がされたが、これからがスタート。町の農業振興に全力で取り組んでいく。